

株式会社ネクスウェイ

SaaSとの柔軟なシステム連携でバックオフィス業務のDXを加速 ジョブカンワークフロー、勘定奉行クラウドの連携で申請承認の作業工数を50%削減

株式会社ネクスウェイは、FAXの斉送サービスから事業をスタートし、現在では郵送、メール、SMS斉送サービスのほか、EDIや本人確認（KYC）といった領域にも事業の幅を拡大。顧客企業の営業・マーケティングや受発注管理などの業務の効率化に貢献している。同社では、コロナ禍を契機に従業員の働き方をリモートワークへとシフト。徹底したペーパーレス化を図るなど、バックオフィス業務のDXを推進している。その一環として、従来メールベースで実施してきた物品購入等にかかわる稟議、支払申請の承認フローを、ジョブカンワークフローを導入してシステム化。会計システムとして新たに導入した勘定奉行クラウドに対し、承認された内容を自動でデータ連携する仕組みを「ASTERIA Warp Core」により構築。これにより申請承認の進捗が可視化され、データの手入力が不要になり、作業品質向上と工数削減を実現した。

導入背景

- 稟議や支払申請などの承認をメールの送受信のみで実施。そのため、進捗状況が可視化されておらず、承認/否認の遅延が頻発
- 申請承認後は、手作業で会計システムに申請内容を入力。経理担当者の業務負荷や、入力ミス発生のリスクが課題に
- オンプレミスで運用していた会計システムの更新時期を迎えることから、SaaSを利用した独自システムへの移行を目指した

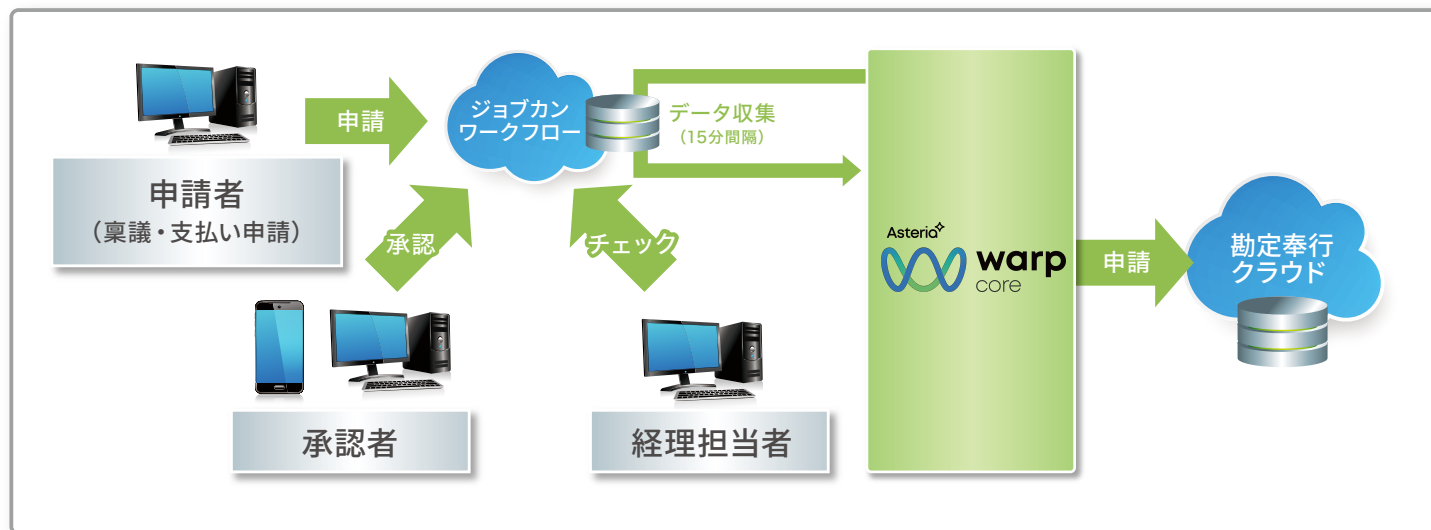
選定ポイント

- 勘定奉行クラウドとの接続のための専用アダプターが用意されているため、スピーディーに連携処理を開発可能
- 多様なシステムやサービスとのAPI連携を容易に実現できる豊富なアダプター群
- アイコンをドラッグ&ドロップ操作でつないでいくだけのノーコード開発環境により、システム連携のロジックを高度な生産性で実装可能

効果

- 申請承認のプロセスが可視化され、内容や進捗状況のチェックが可能に。さらに、締め日間際などのイレギュラーな申請にも柔軟に対応できるようになった
- 会計システムへのデータ入力の自動化により、経理担当者が入力作業から解放。作業工数が50%削減し、人手によるミスの発生も回避
- 申請承認システムと会計システム間の連携フローを3カ月でリリース。今後発生する多様なシステム連携ニーズにも柔軟に対応できる体制が整った

システム概要



ユーザーのひと言



連携フローの実装において常に意識していることは「シンプルさ」です。コードを多用した複雑な実装では、プログラムの内容が属人的になり、保守性が低下してしまうため、ASTERIA Warp Coreの標準機能を活用して開発することを心がけています。今後は、入社申請などの人事関連業務のDX推進など、多様な局面でASTERIA Warp Coreをさらに活用していく予定です。

経営企画本部 コーポレートマネジメント 加瀬 和美 様 (写真)
同 高井 一輝 様
同 阿井 誠 様
同 板倉 旦佳 様

User Profile



所在地：東京都江東区豊洲2-2-1 豊洲ベイサイドクロスタワー
 会社概要：FAX、郵送、メール、SMSなどの送信/受信サービスや、業務支援サービスを用いて、様々な企業の「営業・マーケティング」「企業間商取引」をはじめ、「店舗運営」「業局・製薬企業間の情報伝達」「非対面取引における本人確認業務」などを支援
 業種：情報通信提供サービス事業
 URL：https://www.nexway.co.jp/